

● 1年生が校区の小学6年生と共に、人権について考えました

12月5日（火）の午後、1年生と海蔵小学校および大谷台小学校の6年生、約400人で人権フォーラムを行いました。1年生が大谷台小学校と海蔵小学校に分かれて訪問し、小学6年生と中学1年生が混じった5～6人の小グループに分けられました。そのグループで1枚の絵を見ながら、人権の視点から気になるところを出し合い、解決していくにはどうしたらよいか、意見を出し合いました。



昨年は小学6年生として参加しましたが、今年は中学生の先輩としてグループでの話し合いをリードする立場での参加でした。緊張しながらも、その役割を果たそうとする姿が頼もしくみえました。

最近うれしかったこと3つ。 「言葉は人を元気づける」ことを実感しました。

- 11月末にコロナに感染し、しばらくお休みをいただきました。仕事に復帰してからも咳が続いたため、マスクをして廊下を歩いていたところ、「校長先生、風邪ですか？」と3年生が声をかけてくれました。「実はコロナにかかってね…」と話す、「だからしばらく見なかったんですね。お大事にしてください」と返してくれました。やさしい言葉にとてもうれしくなりました。
- 地域の方から電話をいただきました。「雨の日の朝、ゴミ出しをしていたら、中学生の女の子が『お手伝いしましょうか?』と声をかけてくれました。制服が汚れてもいけないと思い、断りましたが、とてもうれしかったです。ありがとうございます。」との内容です。とってもステキな光景ですね。
- 授業参観にみえた教育委員会の方が、「前のめりになって先生の話を聞き、一生懸命考えている姿に感心しました。普段から良い雰囲気の中で授業が行われていることが伝わってきました。」と、感想を話してくれました。みなさんの姿が評価され、とてもうれしい気持ちになりました。

● A Smooth Sea Never Made A Skillful Sailor.

上は英語のことわざです。日本語訳は「穏やかな海は、良い船乗りを育てない」です。言い換えると「荒れた嵐の海を経験してこそ、腕の良い船乗りになれる」ということです。そこから、「苦労や大変なことを乗り越えて、人は成長する」という意味になります。3年生のみなさんは、これから自分の進む道を決めていくことになります。不安になったり、焦ったりすることもあると思います。でも、そんな苦労や努力を続ける中で得られるものは、みなさんを大きく成長させてくれます。大変な日々が続くかもしれませんが、みなさんの成長には欠かせない日々になります。ぜひ、みんなで励まし合い、声を掛け合って、嵐を越えていきましょう。

【保護者のみなさまへ】 猛暑や感染症の流行に気をもんだ2学期でしたが、明日、無事に2学期の終業式を迎えられそうです。地域の方々、保護者のみなさまのご理解、ご協力に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。3学期もよろしく願いいたします。

- 冬休み中、学校の電話がつながる日時は、12月25日（月）～27日（水）1月5日（金）の8:30～17:00です。12月28日（木）～1月4日（木）は学校閉校日となるため、電話はつながりません。また、土日とも電話はつながりません。（感染症の連絡は必要ありません。）
- 冬休み中は、子ども同士で出かける機会が増えます。また、12月は交通事故が増える時期とも言われています。「自転車は左側通行」「歩道を走るときは歩行者優先」「交差点では一旦停止し、左右の確認をしてから渡る」「ヘルメットをかぶる」など、事故にあわない、事故を起こさないよう、お子さんの安全意識を高めていただくよう、お声掛けをお願いします。
- 冬休みはクリスマスやお正月など、楽しい行事が多く、生活リズムが崩れたり、開放的になったりしやすい時期です。また、SNSに接する機会も増えると思われます。自分自身をきちんとコントロールし、責任のある行動ができるよう、お声掛けをお願いします。

【生徒のみなさんへ】 冬休み中、困ったことがあれば、誰かに相談しましょう。12月21日の学校HPに、「相談窓口一覧」を掲載しました。このページも困ったときの選択肢の1つとしてください。